

めあて:計画的・継続的な学びを進める

「成長」や「学び」の特徴

いわゆる「思春期」(大人への入り口)といわれる時期です。

- 心と体の成長がアンバランスになりがちで、不安や悩みを抱えやすくなります。
- 家族に依存したいという気持ちと、家族から自立したいという気持ちが混在します。
- 矛盾する大人の態度に反抗的になります。また、仲間や友だちの影響を強く受けます。
- 他人から見た自分を意識し、比べて落ち込んだり、無理に合わせようとしたりします。
- 中学校生活を有意義に過ごすためには、部活動との両立が大切です。



学習内容の特色(学校で)

授業の内容が大きく変わります。

- 教科ごとに先生が変わることに加え、小学校で学習する内容に比べ、質・量ともに、かなり違ったものになります。
- 自分から課題を見つける家庭学習に変化していきます。
- 最初は宿題から、やがて自分自身で勉強方法や内容を工夫して、何をするか自分で考え、決められるようになることが大切です。

家庭学習のポイント!!

その1 予習で工夫を! 復習に重点を!

あらかじめ自分で調べたり考えたりして授業に臨めば、課題を見つける力も付きます。また、その日のうちに教科書やノート、プリントを使って学習のポイントを整理し、思い出すように働きかけましょう。「継続は力なり」です。

その2 学校(先生)のプリントの有効利用を!

学校(先生)のプリントには学習のポイントが整理されています。有効に利用するようアドバイスしましょう。

その3 「急がば回れ」の気持ちで!

問題に取り組んでいて分からない時は分かるところまで戻ってやり直すとともに、間違ったところは必ず見直すことが大切です。先生に相談しても良いでしょう。学習課題をやりきったという達成感と自信が、さらなるやる気を起こします。

～子どもたちへ～

- 「毎日、何時間勉強する」「毎日、問題集を何ページする」など、具体的な目標を立てましょう。
- 学校の時間割に合わせて、予習復習の計画を立てましょう。
- 毎日決まった場所で、決まった時間に勉強しましょう。

こんな家庭学習をしてみよう!!

国語では・・・

教科書を声に出して繰り返し読みましょう。漢字は何回も書いて、へんやつくりを意識して確実に覚えましょう。意味の分からない語句は、国語辞典で調べて確かめておきましょう。小説や物語を読んで、自分の生き方を考えてみましょう。

社会では・・・

復習に重点を置き、重要語句や人物名は書いて覚えましょう。学習した内容を図書館やインターネット等を活用して詳しく調べてみましょう。進んで新聞を読んだり、テレビのニュースを観たりして、学習したことを社会の動きと関連付ける習慣を付けましょう。

数学では・・・

基本となる解き方や考え方を示している教科書の「例題」や「例」を理解し、自分のものにしましょう。学習した内容のワークや教科書の問題を繰り返し学習する(解く)ようにしましょう。様々な形で出題される問題になれるためにも、ワークや問題集などのいろいろな問題を多く解くようにしましょう。

理科では・・・

教科書・ノートの見直しをし、要点をまとめてみましょう。授業で行った実験等について、「目的と方法」や「結果や考察」をそれぞれ関連付けてまとめてみましょう。その際、図やグラフ等の資料を見ながら、なぜそうなるのかを考えるようにしましょう。ワークで重要事項や解き方を確認しながら繰り返し解くようにしましょう。

英語では・・・

新出語(句)と基本文は、声に出しながら繰り返し書きましょう。教科書で習った本文は、まず、声に出して読んでみましょう。読めたら、その意味を日本語で書いて、今度はその日本語を見ながら英文が書けるまで練習しましょう。学習した英語を使って、自分のことについて話したり、書いたりしてみましょう。

めあて: 励まし、自分の目標を明確にもたせる

「成長」や「学び」の特徴

まさに、人生の節目の時期です。

- 自らの進学や就職などの進路決定を行う時期がだんだん近づいてきます。
- 「やらなくては」と分かっているが、思うようにならない自分に苛立ちを覚えます。
- 気持ちが不安定になり、大人がかかる言葉に敏感になり、ときには反抗することがあります。

進路に関する情報が不足していると、一層不安が募ります。

- 本人も保護者も、学校(先生)などから正しい進路情報を得ましょう。
- 正しい進路情報をもとにして、家族で進路についてよく話し合しましょう。
- 将来を見据えた目標をもつことが、本人のやる気にもつながります。



学習内容の特色(学校で)

- 目先の進路だけを意識すると対策的な学習になりがちです。まず、基礎・基本を確実に身に付ける総復習が必要です。
- 3年生の学習内容は、1・2年生の学習内容とかけ離れて難しいわけではありませんが、3年生の授業の復習と1・2年生の内容の復習をする必要があります。

今一度、家族みんなで生活習慣の点検を!!

その1 朝食は必ずとる!

大切なエネルギー源で脳の働きにも関係します。

その2 睡眠時間はたっぷり!

睡眠不足では疲れがとれません。夜更かしはやめ、明日の生活にベストコンディションで臨めるようにアドバイスしましょう。

その3 計画的に時間を使う!

特に、部活動を引退後は、帰宅してから夕食までの時間を有効に活用して生活リズムを整えましょう。テレビなどの視聴は番組を選び、時間を決めるよう働きかけましょう。分担した家事も続けましょう。

その4 挨拶や会話を大切に!

「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえり」の挨拶はもちろん、楽しい会話で、家族の絆を強く感じ取ることができます。

～子どもたちへ～

- 得意な教科は、問題集などでどんどん進めましょう。
- 苦手な教科は、分かるところまでさかのぼってやってみましょう。
- 先生から、自分にあった学習方法をアドバイスしてもらいましょう。

こんな家庭学習をしてみよう!!

まず、ノートを見て、その日の授業を振り返りましょう。

詳しく知りたいことや、わかりにくかったことは、教科書や参考書で確かめましょう。国語の漢字や言葉、英語の単語や文型などは、繰り返し書いて覚えましょう。数学の計算や文章題は、同じ問題や似た問題を問題集で解いてみましょう。社会科や理科では、大切なことをわかりやすくまとめておきましょう。

テスト日をめやすにして、スケジュール管理をしましょう。

定期テストや教科の小テストなど、いつ・何があるかをカレンダーに書き込んでおきましょう。テスト範囲とテスト日までの日数を考えて、その日に何を勉強するかも書き込んでおきましょう。スケジュールをもとに計画的に学習に取り組めたら、カレンダーにチェックを入れておきましょう。

夏休みはこんなことを...

1・2年生までの総復習を集中して続ける絶好の機会です。問題集などのページ数と休みの残りの日数から、1日に学習する時間や量を決めて進めます。部活動を引退したら、気持ちを切り替えて計画的な勉強に一層力を入れましょう。

冬休みはこんなことを...

進路希望が明確になります。進路を見据えて、ラストスパートです。出題傾向を調べたり、出願資格を確認したりするなど、事前の準備をきちんと行い、進路希望に合った問題集などに挑戦しましょう。

「安らぎ」と「支え」を!

- 家族として、今まで以上に気を遣う時期です。子どものやる気を尊重しながらも、できるだけ家庭学習に関わっていくことが大切です。
- 子どもの将来の夢や希望、就職や進学などについて家族で話し合しましょう。
- 必要なときは、先生とも相談しましょう。
- 休憩時間、家族から出される軽食や飲み物もうれしいものです。

希望進路実現に向けて、学習する内容は?!

1学期【基礎学力充実期】

毎日の授業の予習復習と併せて1・2年生の総復習を確実にいきましょう。基礎・基本の内容を確実に身に付けましょう。

夏休み【学習総整理期】

1年生から3年生の1学期までの学習内容を総復習しましょう。また、不得意教科克服にも努めましょう。

2学期【応用力養成期】

全教科の要点整理と併せて数多く、いろいろな種類の問題(難問等)にチャレンジしてみましょう。希望進路(就職先や進学先)決定の時期でもあります。

3学期【総合力完成期】

全教科の総復習(重要事項、公式等の暗記)と就職・進学試験に出題が予想される問題(過去出題された問題)の練習を重点的にいきましょう。